

# さいがい 災害がおきたときは...



## 事前準備

家具の転倒防止対策をしておきましょう。  
 備蓄品、非常持出品を準備しておきましょう。

まずは、自分の身を守りましょう。

テレビ、ラジオ、防災情報Eメールなどで  
 被害状況の情報を集めましょう。



## 自宅

## 事前準備

いっつき避難場所、広域避難場所、地域防災拠点  
 がどこか、確認しておきましょう。

ひとまず、安全な場所に避難します。  
 避難する場合は、隣近所、  
 特に避難が困難な方と声を  
 かけあって避難しましょう。



## 事前準備

家族との連絡方法、待合場所、緊急連絡先  
 なども決めておきましょう。

家が無事なら自宅に帰り、  
 自宅で避難生活を送ります。



## いっつき避難場所 (公園、空き地など)



## 広域避難場所 (大規模火災などから 身を守れる広い場所)

## 地域防災拠点 (小中学校など)

- 避難場所
- 最低限の物資の備蓄場所
- 情報の収集・伝達場所

の3つの機能を持っています。



自宅で生活できない方は地域防災拠点に避難します。  
 拠点の運営委員も被災者です。みんなで協力して  
 避難生活を送りましょう。  
 支援、配慮が必要な方も避難しますので、  
 専用スペースの設置や物資の優先配付などへのご理解  
 ご協力をお願いします。

## 特別避難場所 (福祉施設など)



地域防災拠点での生活が困難な場合は、  
 二次的避難場所である特別避難場所へ避難することもあります。  
 (特別避難場所の開設・受入は区が決定します。)

もっと詳しいことが知りたい方へ

「わが家の地震対策」をご確認ください (横浜市ホームページからもダウンロードできます)